

ひ
ろ
ば
大代

平成三〇.一

大代公民館

刈り取りを前にして

棒自治会

手一杯の農作業を持ち乍らの共同作業は並み大抵の覚悟では出来ないと思知をしてかかった事ですが、やってみればいろ／＼の差し支えや、物の考え方、やり方などそれぞれの方法がある訳ですが、その都度、定例自治会の議題として協議し、順次作業を進めて来ました。

稲の成熟につれて、風雨を心配した結果、黄金色の重い稲穂が垂れ下がった姿を見ることが出来ました。

しかし、二度に亘る台風の被害を受けて大分寝てしまい、機械刈りが出来ない所も出て来ましたが、早や刈り取りを目前にしておりますので一安心といたしたところです。

会合の席上、予約通り出来るか、作柄は、穂尺は、籾の厚さは、小米はと次々評定しきり、嬉しい話し合いの場が生まれ、楽しい一ときを過ごす事が

出来、本当に皆さんで力を併せての収穫は又、格別な喜びと互いに味わっております。九月十六日には朝仕事に畦草も刈り収穫を待つばかりに致りました。これも皆さんの協力のお陰で、「こしひかり」が袋詰めになれ農協へ納める日を目の前に、今までの苦勞をかみしめ乍ら、出来秋をしみじみ喜びと感謝をしております。

耕作に限らず高齢化社会に対応するため、いい勉強になったのも共同の農作業のお陰であったと思います。

実の秋に思う

下市 立野保雄



収穫の秋、みのりの秋、黄金色の稲が第一に稔を魁て見せてくれます。

何も秋だけが収穫の時ではないのになぜ実、収穫と喜んでいたのでしょうか。私なりに思いますと日本の季節に関係があり、祖先達より明日へ又は将来への生き方、生活の持続、安定の為の知恵、貯蔵蓄えという大切な事があるからではないでしょうか。

やがて秋の訪れと共に日短かに一日が暮れ、木の葉が舞い秋風が身にしみ

る頃、先人達又私達が収穫を喜び実に感謝したものです。現在農村の衰勢と米の問題等考える時、次代の人達がわかまりなくみのりの秋、収穫の秋と喜んでくれるでしょうか。

さて今私の畑では自治会競作のどてかぼちゃが五十キロ位もあるうかという大きな団体をオレンジ色に輝かせ、三つ四つ取り入れを待つて居ります。そのそばでは白菜、大根、かぶ、が緑濃く育っていて、収穫したら文化祭に今年も出品する予定であります。今まで時々上位に入選させて頂いておりまして、よく人から作り方等を聞かれる事がありますが別に変わった作り方をしているのではなく、皆様もよく御存知の事ですが私も一緒に復習のつもりで記してみます。

一有機質に富んだ土を作る。私は鶏ふんを多く使っています。

二適期の種まき。八月二十日から二十五日頃私は永年これを守っています。三幼苗の時病虫害に注意し、肥料は初期重点にして結球時期肥料切れがない様結球開始は六十日、白菜等早生では十月十日頃、晩生は大家の祭

過ぎが目安です。結球は人に食べて貰うためではなく寒さが十八度位になると子房を守る為包むと言われています。十一月十二月が暖かい時は移植の小苗でも良く結球する様です。

誰がために赤い羽根はある



社会福祉協議会大代支部

十月一日から十二月三十一日まで全国一斉に、赤い羽根国民たすけあい共同募金運動がはじまります。

この運動も今年で四十五回目を迎えますが、これ迄本県では県民の皆様のおかげでご理解とご協力により、四十五億六〇〇万円余にのぼる多額の善意が寄せられております。

この寄付金は、県内の老人や障害者などの民間社会福祉施設・団体および市町村社会福祉協議会に配分し、福祉活動に大きな役割を果たしております。誰もが気になる赤い羽根募金の使われ方。最近の事例をできるだけたくさん紹介されている事実を大代公民館は掲示板に展示しています。

今年の大代町の赤い羽根募金の目標額は十八万九千七百円と決まっております。

ます。どうか、大代住民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

大田市花いっぱいコンクール

一人の部一特別賞

(最優秀賞)受賞・下市 田辺孝

花づくりを始めてから今年で、大田市花いっぱいコンクール五年連続最優秀賞を受賞することができました。

大代町の一人の住民として、大代町のイメージづくりとして花の町並み通

りができればと努力してまいりました。過疎地であろうが花は年々咲きます一隅を照らす。照願脚下で出来るところからと考えて花いっばいに挑戦してまいりました。

社会環境のレベル(水準)を上げるためにもコンクールは必要になってきます。相手と競うことよって創意工夫・努力・愛情が特に要求されます。人の気づかない所に気づいて実行し、初めて結果は出てくるものです。

私は街かどや道ばたなどに何気なく花が植えられている町、みずみずしい緑につつまれた町、そんな町に出会う



うとほっとしてなんとなくうれしくなります。この町には心のやさしい人がたくさん住んでいる。こんな町に住みたいな。そんな気持ちになってきます。これからもこの大代町をそんな町にみなさん方といっしょに歩いていきたいと思えます。継続は力なりです。

介護教室に参加なさいませんか

民生児童委員 田辺幸子

「ある所に、おばあさんとおばあさんがおりました——新昔話」

新聞でこんな記事を見つけ、平均寿命の男女差が広がった今日満更ウソではない事に思わず笑ってしまいました。日本の六十五歳以上の高齢者は千五百万人と総人口の十二%を越えており大代町の高齢者の占める割合は、この二倍以上です。

高齢者がさらにお年寄りの配偶者や両親の介護をすることも珍しくなくなりました。

しかも、そのほとんどが女性の手にゆだねられているのが実情です。

子供がいても現在同居しているお年寄りの家庭は極わずか、そんな中でい

つ誰が介護の役割を果たさなければならぬか分かりません。

在宅福祉サービスの制度が漸次実現されつつありますが、家庭の暖かい協力、隣近所の親切が、老人や病人にとって一番の喜びではないかと思ひます。私共は専門の方々ほどのお世話はできないまでも、少しでも心得ておればと、眺峰園の先生方のご熱意によってこれまで二回の介護教室を持つことができました。

第一回目は、管内の老人ホームの実情や福祉サービスの諸制度について、第二回目は、眺峰園のサービス案内（園の入所手続き、短期入所、貸し出し物、介護用品の斡旋、入浴サービス等）家庭における簡単な介護方法（清拭、オムツ交換、寝巻きの着せ替え方床ずれ、食事のお世話等）を実習を通してながら勉強させて頂きました。

参考者は、介護というよりは、身近に迫った自分自身の問題として熱心に学習され、早速介護用品の注文をなさった方もありました。

つい先日、ご主人の突然の発病に驚かれた渡前婦人会長さんも、この介護

教室が大変役に立ちましたと喜んで話して下さいました。

第三回介護教室は十月三十一日（木）午後一時半より公民館で実施致します。病人の移動のさせ方、老人病人の食事の工夫について学習の予定です。

折角の機会ですので、老若男女を問わず沢山の参加をお待ちしております。そして、お年寄りの方が明るく楽しく毎日を過ごせるようお互い頑張りましょう。



幼・小・中の体育祭を終えて

中学校生徒会長 山根和人
今年九月八日に行った体育祭では、今まで行わなかった幼・小・中連合で行いました。

夏休み前のある日、先生から「今年は、幼・小・中連合で体育祭を行います。」と言われました。不満を言う人もいましたが、決まってしまう以上、みんな頑張つて、3年にとつては最後の体育祭を成功させたいと思ひました。

それから、みんな一緒にトラック内の草取りや石拾いをしたり、体育祭

の目玉とも言うべき、応援合戦やデコレーションの準備をしたりしました。

特に、幼稚園や小学校の生徒が草取りや石拾いを頑張ってくれたので、きれいなグラウンドで体育祭が出来てうれしかったです。

競技の方でも、みんなが頑張つてやってくれました。その中でも特にいいなあと思つて見ていたのは、中学校の競技の時には小学生が一生懸命応援してくれたことです。僕はとてもうれしかったです。

初めは「ちょっとなあ」と思つていましたが、小学生が特に頑張つて、素晴らしい体育祭を行う事が出来て本当によかったと思ひます。



三十八年間の思い出

前大代消防分団長 中垣昌文

秋の農繁期を迎え町民の皆さんにはご多忙と存じます。この度大田市消防団の役員改選に当り、私事九月末日をもって退団させて頂きました。

光陰矢の如しと申しますが三十八年間があつと言う間でした。昭和二十八年大代村消防団に入団して以来、川本

町消防団、大田市消防団と今日迄団員として色々な思い出が浮かびます。

入団早々に手引ポンプでの操法大会雨の中での県大会、車の少ない時代にトラックに幌を掛け団員全部が小さくなって乗り出場した県大会、準優勝し纏を持って帰った一昨年の県大会、悲しい思い出は昭和五十一年十月の大代中学校の全焼した火災でした。当時私は機関員をしていた関係でポンプにつききりで現場を見たのは鎮火してからの焼跡でしたが火の恐ろしさを見せ付けられた思い出でした。私の一生忘れる事の出来ない思い出は昨年二月、消防庁長官より「永年勤続功労賞」を受賞し、町民の皆さんに祝って頂いた時の事です。消防団に入っていて良かったと深く感じました。

若い団員の皆さん、消防の任務は町民の皆さんの生命、財産を守る事にあります。この精神を忘れる事なく新しい分団長を中心に活躍されん事を祈ります。ここに公民館報の紙面を借りて永年に亘るご指導、ご協力に対して厚くお礼申し上げますと共に、今後も大代分団に対して町民の皆さんの変わら

ぬご支援を賜ります様お願い申し上げます。退団のご挨拶と致します。



榑原 広君！国体出場おめでとう！

榑自治会

秋の国体へ榑原君が出場する事に決まった報道は自治会内にすぐ広がり、それはよかった、やったな、これからが大変だと嬉しいニュースが流れ、早速自治会の入口に喜びと健闘を祈る看板を設置しました。

榑原君の出場は「秋季国体相撲第二部島根代表」という事で隠岐、掛合、大田より各一名計三名の編成です。何しろこんな名誉な事は滅多にある事ではありません。大きな拍手を贈り本人の健斗はもとより、健康に留意して立派な成績を期待するものです。

榑原君は真面目な努力型の青年で部落でも唯一の若者です。お父さん譲りの相撲が身についており、きっかけとしては大代での優勝がこの度の国体につながったもので、暗れて石川国体の場で精一杯の力と技を發揮して大代、いや島根県の為、頑張って頂く様、出身自治会挙げての声援を惜しまないと

ころであります。

町内の皆様にも温かい応援を改めてお願いする次第であります。

大江高山の登山道下刈り

大代公民館

台風の接近に気を揉み乍らの9月8日、日曜日とあって幼小中体育祭も行われ、農繁期と重なり今年には出席人数があやぶまれました。

にもかかわらず地元飯谷、山田の方を中心に16名の参加があり、気を取り直して8時40分から作業開始、草刈機手鎌などにより本郷側、飯谷側両方から汗まみれの登山が始まりました。

毎年の行事で下草も段々と薄くなり小人数乍らも予想外に涉りましたが時間の関係で頂上を渡る一部残すのを余儀なくされました。その部分は下草も少なく11月3日登山の時を利用して完成させたいものと思います。

頂上付近はミヤコアオイ、ミスミソウなど特に増えて着た様に思います。これは下刈りによって適当な間隔と僅かな肥料成分が成長を促した様です。珍しい存在、ギフ蝶も一時現れて、



黄色と黒の縦縞があざやかに見られました。

台風の接近からか足早に次から次へとガスが発生し海岸線や水平線の展望は悪かったけれ共、風の為に作業はまずまず順調に行われました。

正午過ぎ山田側頂上に達しましたがさすがに暑気と汗で疲れた様です。

ジュースの味はまた特別で昼食の間は大変楽しかった様です。

最近では県外、市外からも登山者が増え、近隣からしきりと登山道の問合わせがあり、大江高山も漸く存在価値が知られる様になりました。下刈りはずっと続けたいものです。

大田市花いっぱいコンクール

(地域・職場の部)

優秀賞受賞

大代公民館

昨年の大田市の花いっぱいコンクールでは優良賞でしたが、本年は優秀賞へと一段と向上発展しました。

私たち職員三名は、公民館は住民のふれ合いの場所であると考えて、少しでも美しく潤いのある環境づくりへと努めてまいりました。



大代公民館の門の入口を花のプラントで飾り、皆様方を温かくお迎えできるようにまた玄関までの通路を花のプラントを眺めつ、心を和まして玄関へと。玄関はその家の顔と考えて花の花台を置き花で飾られた玄関にしました。花壇も色とりどりの花を植え、花に囲まれた公民館へと汗を流して参りました。

今年には江津市の敬川町のみなさん方が大代公民館の花いっぱい活動と見学に訪れてくれました。自治会・老人会婦人会・公民館・花いっぱい推進協議会の委員の方々、総勢二十九名ばかり、熱心に花いっぱい運動の意見を交換しました。どこも花と緑をとおして地域づくりを一層進めている事に感動しました。

私たちが今やらねばいつできると考えて今後も頑張り続けたいと思います。

大代消防分団役員改選

一任期満了による新役員

分団長 竹本謙 副分団長 井谷英美

部長 高村貢

班長1班 木村幸司 5班 森守

班長2班 岡田繁樹 6班山下友三郎
3班 泉 朋記 7班 原田守男
4班 大場清志

◆超大型台風、各地で被害続出!

屋根、瓦が飛び稲はでのほとんどが倒壊、人的負担も大変大きな被害でした。被害を受けられた皆様に心から御見舞を申し上げます。

◆御礼

大代町敬老会へ御寄贈!

9月15日、羅浮仙の酒造元、木村酒造より清酒一合瓶百本を御寄贈頂きました。厚く御礼申し上げます。

おしらせ

◆公民館から

広島市 泉 敏雄様

大阪府 東野美月子様

御寄付を頂き有難うございました。厚く御礼申し上げます。

◆社協大代支部から

上市 木村幸司様

上飯谷 武田弘義様

下市 市原仁郎様

香典返しに替えて金一封の御厚志を頂きました。厚く御礼申し上げます。

